

# 和東農業祭「脱マンネリ」

宇治茶主産地の和東町で、1987（昭和62）年から開催されてきた農業祭「グリーンフェスタ」が、茶に特化したイベント「茶源郷まつり」に衣替えすることになった。開催は11月3、4の両日。「マンネリ化している」との指摘が町、町商工会などの実行委員会内部から出て、企画を募った。3月に「世界茶産地フェスティバル」を開いた実績がある町内の茶業ベンチャー「京都おぶぶ茶苑」（喜多章浩代表）のプランが採用された。

【北村弘一】

## 「おぶぶ茶苑」企画採用し11月3、4日 お茶の魅力味わうイベント

# 「茶源郷まつり」に衣替え

「お茶の魅力のすべ  
てを伝える」がテーマ。  
会場の和東運動公園  
（同町白栖）に、イン  
ドやスリランカ、台湾、  
中国などの国・地域  
や、静岡、八女、南山  
城などの農家が出店  
し、紅茶、ウーロン茶、  
日本茶が試飲できる  
「お茶の散歩道」（40  
ブース）▽茶を使用し  
た食品やドリンクを提  
供する屋台村（同）▽  
営農組合や町商工会な  
どによるフリースペー  
ス（同）が設けられる。  
同茶苑の松本靖治副  
代表は「お茶に関心は  
あるが、茶道は敷居が  
高いというファンを引  
きつけるイベントにし  
たい」と話している。

このほか、府景観資  
産第1号に登録された  
茶園を巡るツアーも、  
ウオーキング、レンタ  
サイクル、バスの3コ  
ースを用意する。50  
74・78・2911。  
ず、各ブースの出店者  
を募集している。問い  
合わせは同茶苑（07